



赤十字幼児安全法講習内容一覧



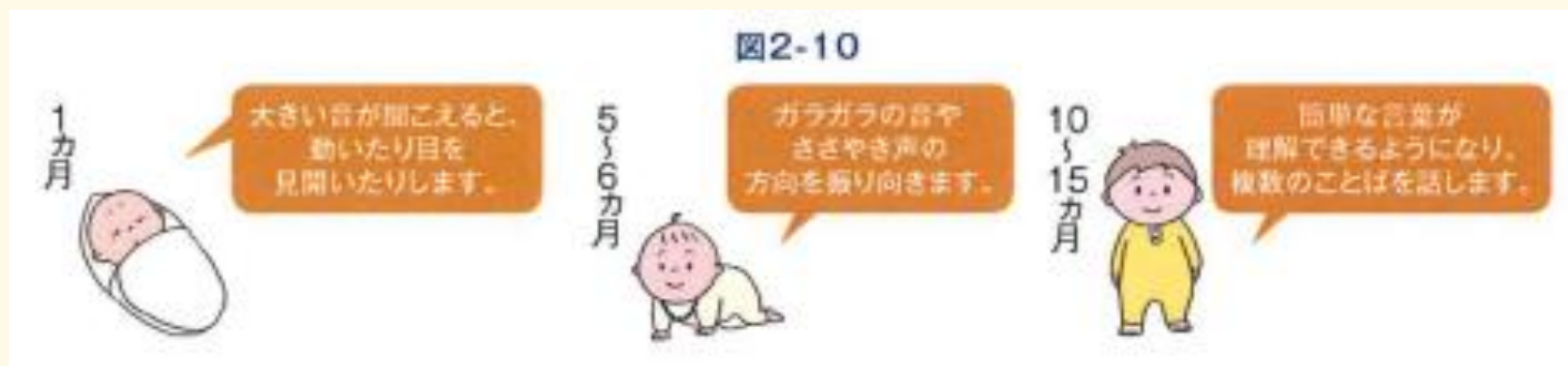
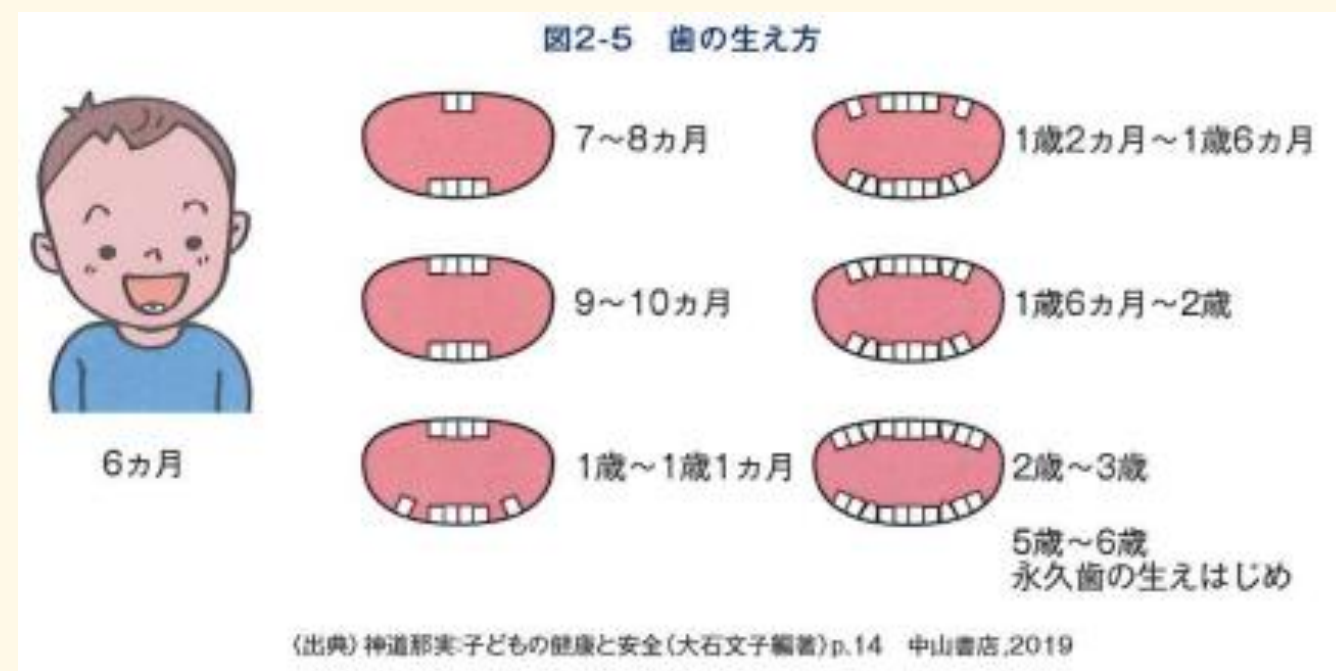
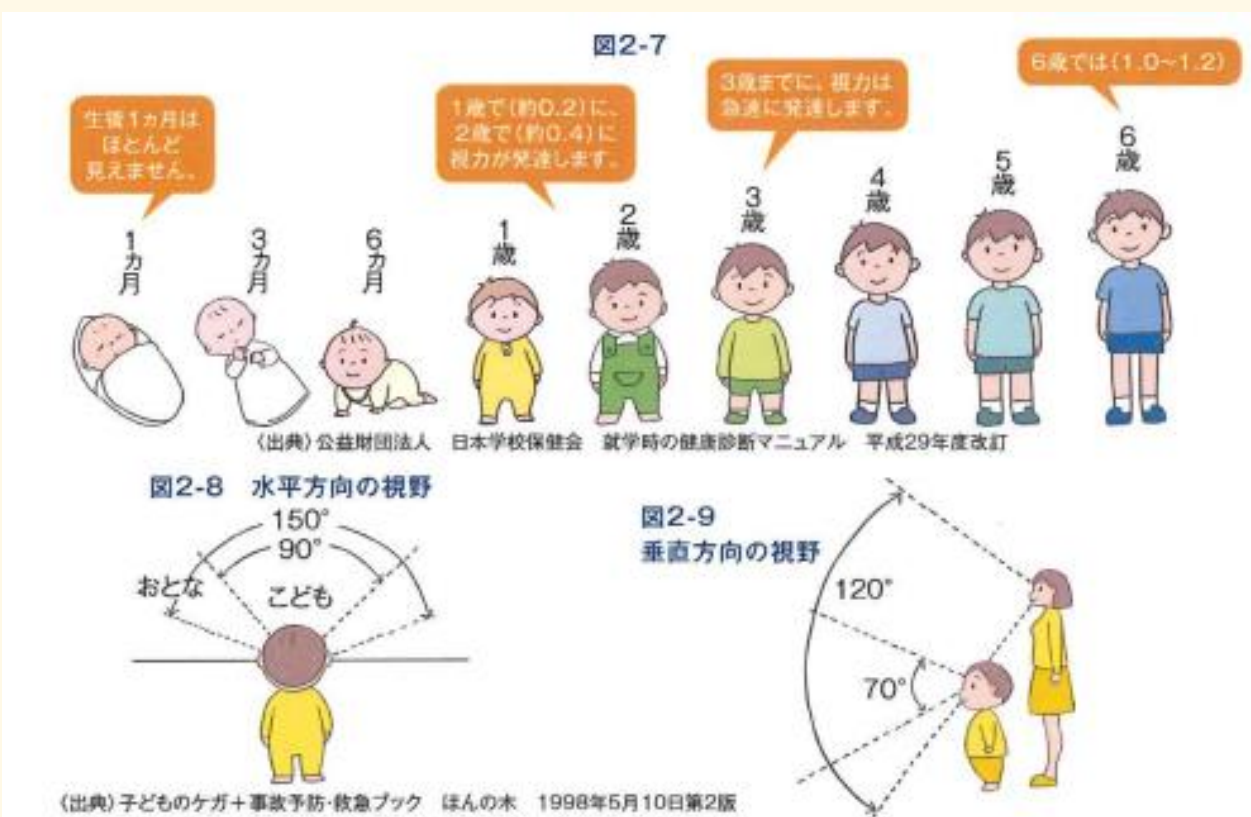
コース	形式	時間	内容
1 子どもの成長発達 と事故予防	講義 ・ 実技	60分～ 90分程度	1 子どもの成長発達について ・成長、発達について ・子どもに大切な生活習慣
			2 子どもに起こりやすい事故の予防について ・子どもに起こりやすい事故 ・事故の誘因 ・事故の予防
2 子どもの応急手当	講義 ・ 実技	60分～ 90分程度	3 子どもに起こりやすい事故とけが、急病に対する応急手当 ・きず ・頭部のけが ・打撲 ・骨折 ・脱臼 ・捻挫 ・誤飲・誤嚥 ・溺水 ・熱中症 ・熱傷 ・鼻血 ・虫刺され・動物に咬まれたきず
			4 手当の実際 ・止血 ・包帯 ・固定
3 子どもの病気と 看病のしかた	講義 ・ 実技	60分～ 90分程度	5 子どもの病気について ・子どもの病気の特徴 ・心づかい ・観察のしかた ・記録のしかた ・看病する前に（感染予防のための手指消毒） ・薬の使い方
			6 起こりやすい症状と手当 ・発熱 ・けいれん ・咳 ・嘔吐 ・下痢 ・便秘 ・痛み（頭・腹） ・食物アレルギー
			7 病気の予防 ・感染症について ・予防接種 ・乳幼児健康診査
			8 医師へのかかり方 ・かかりつけ医の選び方 ・受診時の注意
4 地域の子育て支援	講義	20分	9 地域の子育てサポートシステム ・地域の子育て支援 ・病気の子どもを守る親の会・団体
			10 子どもの虐待を防止するために ・児童虐待とは ・虐待が起こる背景 ・虐待のサイン ・子どもの様子がおかしいと思ったら 地域の中で、私たちが子どもたちにできること
5 乳幼児の 一次救命処置	講義 ・ 実技	60分～ 90分程度	11 ・乳幼児の一次救命処置とは ・救命の連鎖
			12 手当の基本 ・周囲の状況の観察 ・傷病児の観察 ・体位の基本（傷病児の寝かせ方） ・協力者の要請・連絡・通報
			13 乳幼児の一次救命処置の手順 ・反応（意識）の確認 ・協力者を求める ・呼吸の確認 ・胸骨圧迫 ・気道確保 ・人工呼吸 ・胸骨圧迫と人工呼吸の組み合わせ ・AEDを用いた除細動 ・一次救命処置の継続 ・気道異物による窒息
6 災害時避難生活 支援講習	講義 ・ 実技	90分～ 120分 程度	14 災害時避難生活支援講習 ・災害への備え ・避難生活 ・乳幼児と保護者の避難生活と支援 ・知って役立つ技術 ・避難生活における支援にあたって

各コースの時間は目安です。ご希望に合わせて時間と内容は相談に応じます。

1

子どもの成長発達について

子どものからだの成長や精神・運動機能の発達の過程を知り、生きていくうえで欠かせない生活習慣を正しく身に着けることで、子どものさまざまな機能が自然と高められ、事故や病気の予防につながることを学びます。



2

子どもに起こりやすい事故の予防について

子どもの身体的特徴や精神・運動機能の発達、行動の拡大、遊びの変化など、成長・発達の段階により事故の原因や場所、内容が変化します。子供の事故の現状を知り、子どもに起こりやすい事故を予防するために大切なことを学びます。



3

子どもに起こりやすい 事故とけが、急病に対する応急手当

子どもは、日常生活のなかで、けがをする頻度は高く、正しく手当てを行わないと、その後の治療に影響し、細菌に感染して危険な状態になることがあります。それぞれのけがや急病に応じた適切な手当てと、正しい知識を学びます。



4

手当の実際

手当の実際として「止血」「包帯」「固定」、また、身近なものを利用した手当の実際について学びます。

図3-22 スカーフを使って



図3-15



きずを覆う大きさに
たたみます

図3-16



5

子どもの病気について

たとえ病気の時であっても、子どもは常に成長・発達を続けています。子供の健やかな成長を妨げないように病気の特徴や適切な看病の方法について学びます。



6

起こりやすい症状と手当

子どもはよく病気にかかりますが、健やかに育つうえで必要な過程でもあります。子どもに起こりやすい症状やその対応について正しく理解し、適切な受診や家庭内での看病について学びます。

図4-17 食物アレルギーの症状



(出典)らくらく育児百科 誠法研 2014年4月14日 第1刷

図4-8



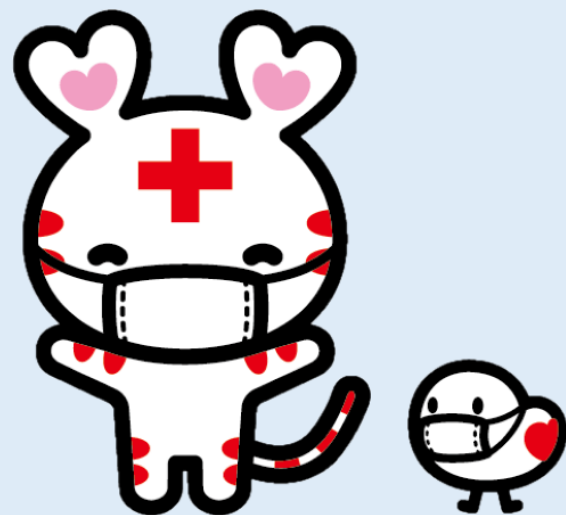
図4-9



7

病気の予防

子どもは免疫や体力がないため、さまざまな病気や感染症にかかりやすく、まれに重症化しやすいこともあるため、病気の予防が大切です。



8

医師へのかかり方

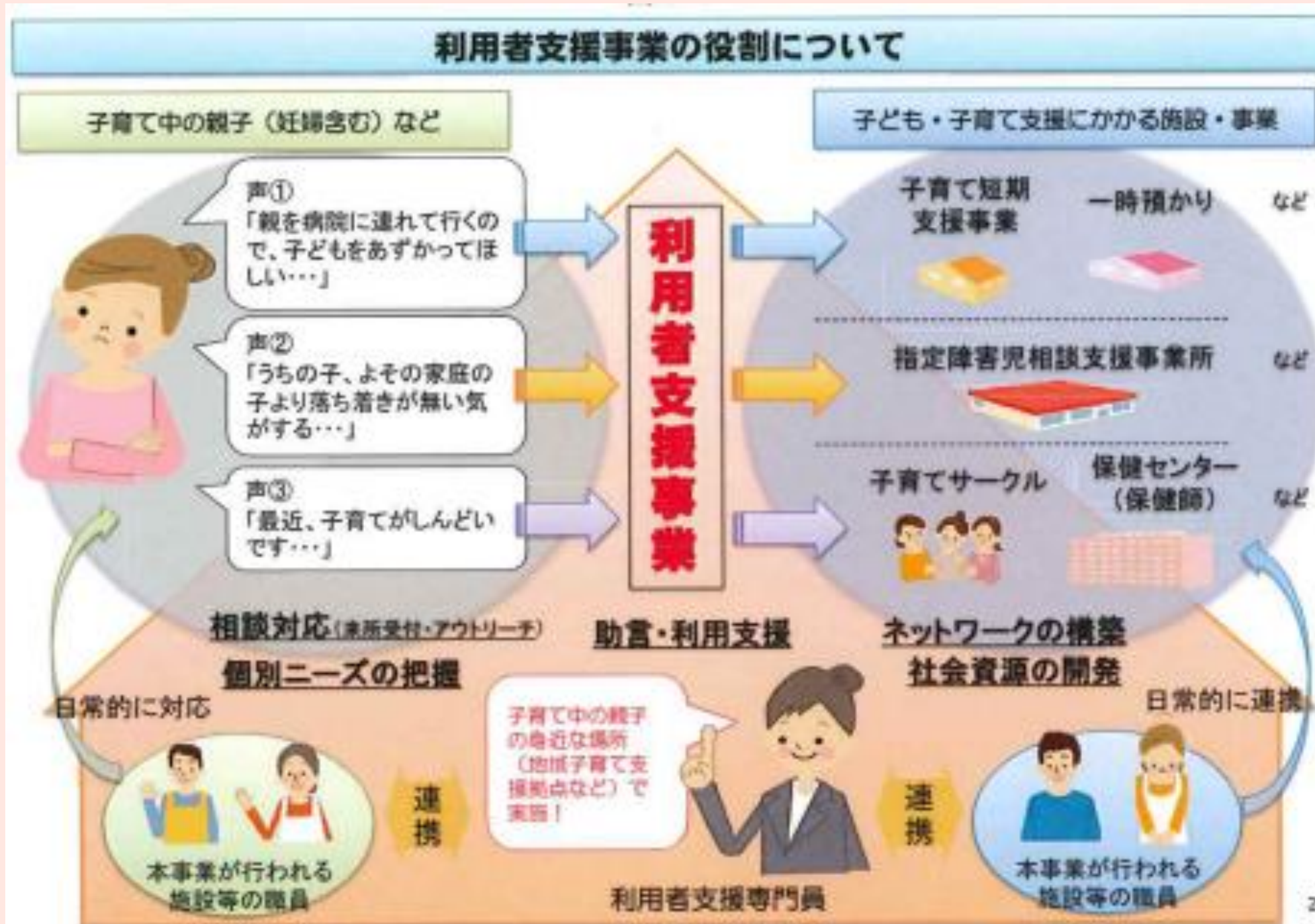
子どもの健康管理のためには、ふだんの様子などをよく知る「かかりつけ医」をもつことが大切です。かかりつけ医の選び方や、受診時の注意について学びます。



9

地域の子育てサポートシステム

社会全体で子どもを大切に守り育てるために、子どもを取り巻く環境の変化や、地域の子育て支援システム等の概要について学ぶ。



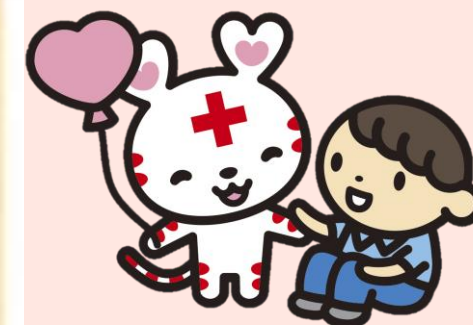
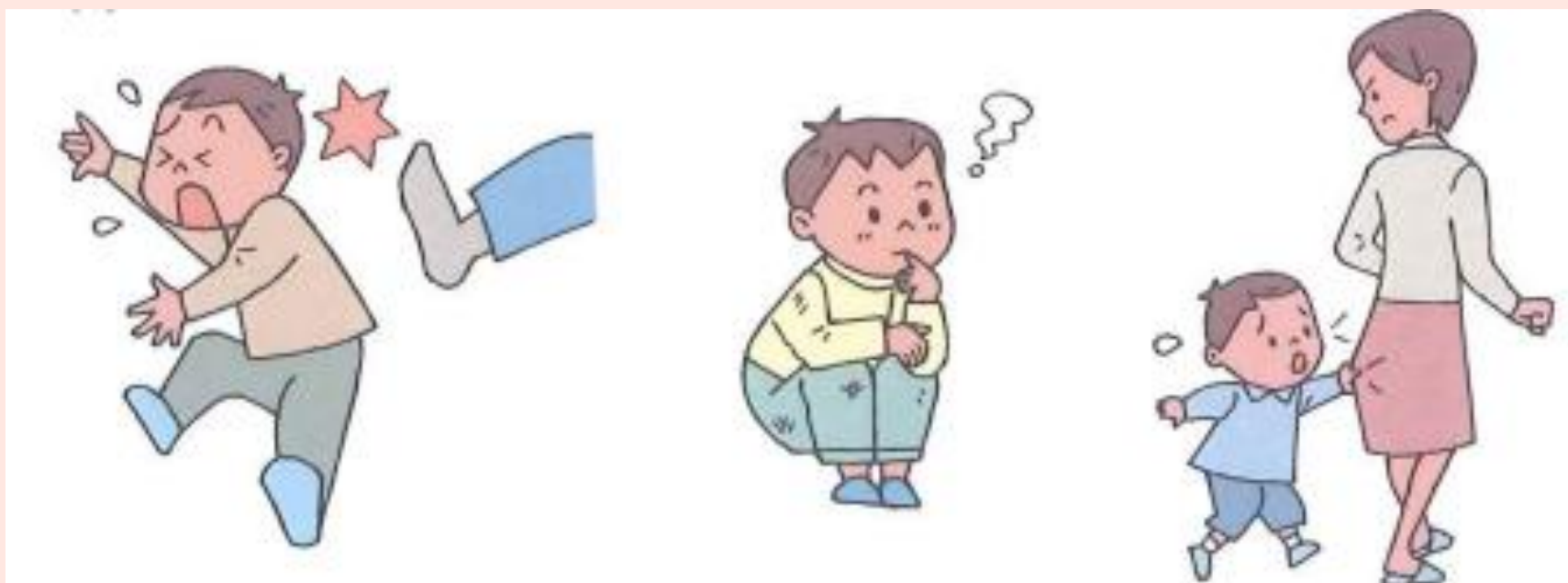
〈出典〉「利用者支援事業とは」(厚生労働省)

<https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11900000-Koyoukintoujidoukateikyoku/riyoshasien.pdf>

10

子どもの虐待を防止するために

子どもの虐待を防止するために、虐待が起こる背景や虐待のサイン、子どもの様子がおかしいと思ったときの対応について学びます。



11

乳幼児の一次救命処置とは

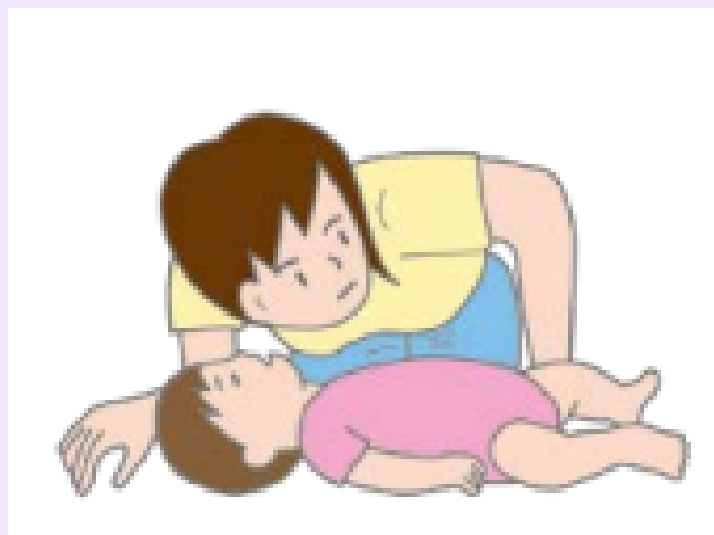
救命するために行う緊急処置と、救命のためのスムーズな連携について学びます。



12 手当の基本

正しい手当を行うためには子どもの状態をよく観察し、正しく判断することが必要です。事故が起こったときに、何をすべきか、何をしてはいけないかについて学びます。

呼吸の状態の観察



反応（意識）の状態の観察



回復体位



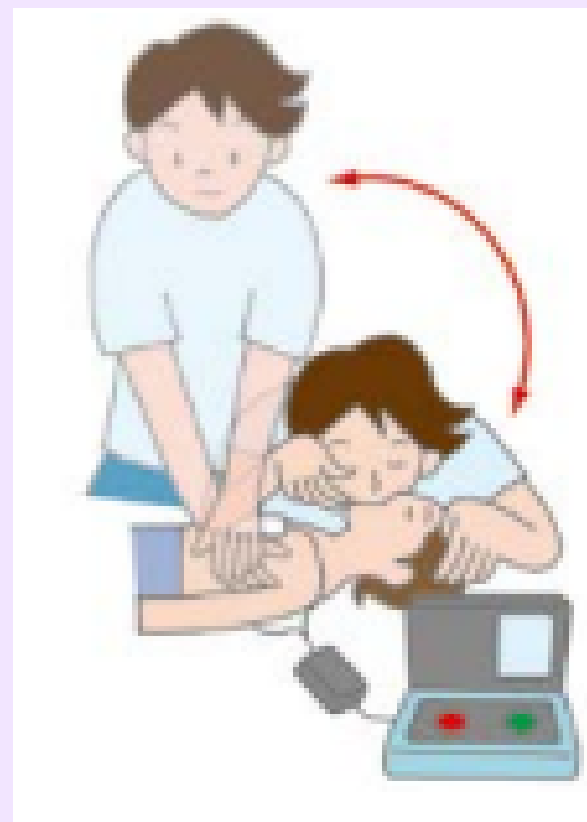
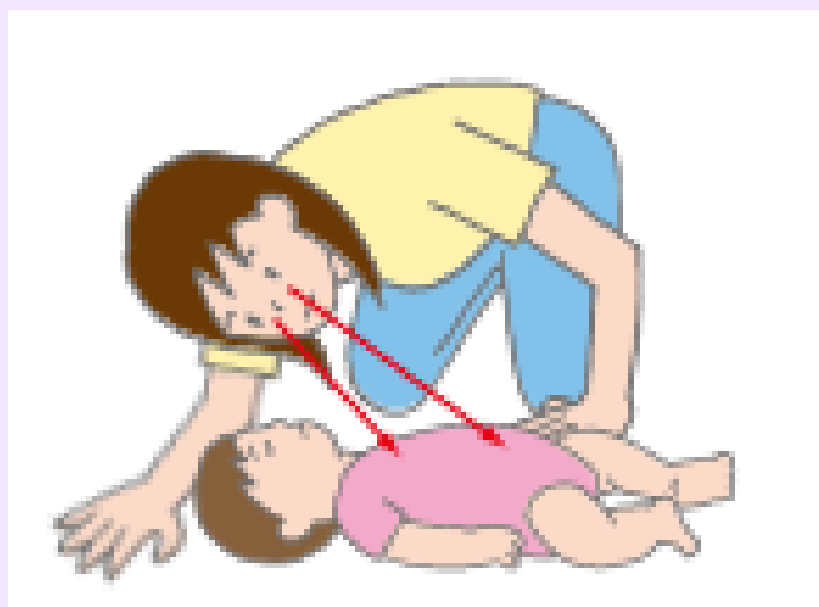
図2-10 毛布による保温



13

乳幼児の一次救命処置の手順

乳幼児の心肺蘇生、AEDを用いた電気ショック、気道異物除去の方法について学びます。



14

災害時避難生活支援講習

災害や避難生活が子どもに及ぼす影響について理解し、その対応について学びます。



配給の食料にアレルギー対応のものがなかった

哺乳瓶が洗えなかった

手洗、うがいができなかった

周りが知らない人ばかりだった

子どもが遊ぶ場所がなかった

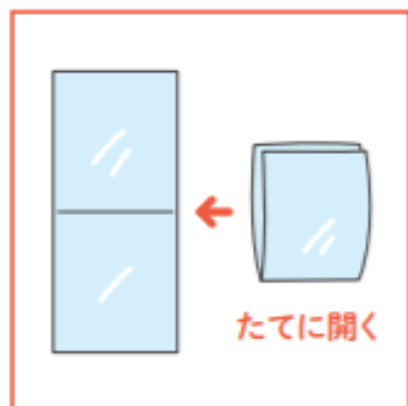
イ ホットタオル

あたたかいタオルでからだを拭くことで、清潔を保つだけでなく、心身の緊張もほぐれます。

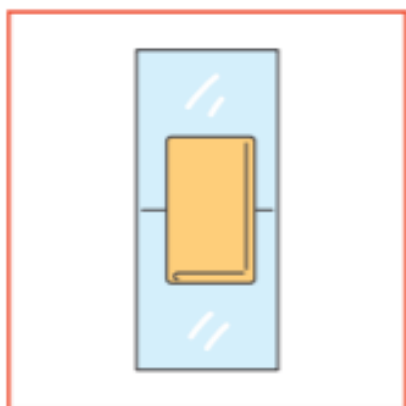


子どもは、不安な気持ちを抱えています。

エ 簡易おむつ



①ビニール袋の横2か所を切って縦長に開く。
※レジ袋でも応用できます。



②ビニール袋を広げた上に清潔なタオルを重ねて置き、余分な部分を折り返す。



③おしりに当てたら、ビニール袋の隅を結ぶ。

